

八戸漁業用海岸局

事業目的

国並びに県等の試験船，取締船並びに一般漁船と漁業指導監督通信を行うことにより人命財産の保全，航行の安全，海難防止，漁場適正管理，操業秩序維持による漁業生産の向上安定を図る。

又外国 200 海裡水域における規制通信確保と拿捕防止のための通信連絡を実施する。

事業内容

1. 実施期間 昭和55年 4 月 1 日～昭和56年 3 月31日
2. 実施場所 通信所 八戸市白銀町右新井田道 1－2 送信所 八戸市白銀町砂森
3. 交信海域 世界 全 域
4. 担当者

局 長 佐々木 光 男

総括主任 尾 崎 義 隆

主 任 目 崎 利 悦

日下部 恒 雄

技 師 尾 崎 秀 秋

5. 取扱通信種別

(1) 漁業指導監督通信

- サケ・マス漁場位置，漁獲報向通信 (水産庁関係)
- サンマ調整通信 (")
- イカ・サバ調整通信 (")
- サバまき網調整通信 (")
- キワダ漁獲規制通信 (")
- 日韓共同水域位置報告通信 (")
- ソ連 200 海裡漁業規制位置漁獲報告通信 (")
- 米国 200 海裡漁業規制位置漁獲報告通信 (")
- その他諸外国 200 海裡漁業規制位置報告通信 (")
- ニュージーランドイカ漁獲報告通信 (")
- タスマニアイカ漁獲報告通信 (")
- 漁獲況水温報告周知通信 (青 水 試)

- 標識魚採捕報告通信 (青 水 試)
- 太平洋イカ流し網漁場位置と漁獲報告通信 (水 産 課)
- 北方海域漁場位置報告通信 (海 保 関 係)
- R地点海域漁場位置報告通信 (")
- E 170°以東漁場報告通信 (")
- 流水情報通信 (")
- 濃霧情報通信 (")
- Fしよう戒位置報告通信 (")
- 北海道底曳入合報告通信 (")
- 気象観測報告通信 (気 象 庁 関 係)
- 漁海況水温報告通信 (情 報 セ ン タ ー)
- 試験船, 調査船, 練習船, 監視船, 巡視船等との指導監督通信

(2) 航行警報周知通信

(3) 遭難緊急安全通信

(4) 保安要急通信

(5) 気 象 通 信

(6) 非 常 通 信

(7) 漁況, 市況放送

(8) 漁業専用通信

(9) 公 衆 通 信

6. 通 信 方 式

- | | |
|----------------|---------------|
| (1) 無線電話 19周波数 | } による年間常時3重通信 |
| 無線電信 10周波数 | |
| 超短波 5周波数 | |

(2) セルコール通信による通信

(3) 遭難周波数常時無休聴守

電 信 2,091 K H Z

電 話 2,182

超短波 27,524

非常波 4,630

(4) 八戸電報電話局直通ファックス送信受信

(5) 通信所, 送信所間端局パルスリモートコントロール

7. 勤務形態

通信所，送信所とも周年無休常時交替勤務

事業結果

1. 取扱通信実績，事故内容通信内訳は表1～2に示した。

2. 文書取扱実績

収 受 1,106 件

発 送 326 件

3 講習訓練業務指導実施状況

○ 違反通信防止対策委員会 1 回 85名

○ 排常無線通信訓練 5 日間

使用電波 電信 4,630 K M Z

実施期間 5 月23日 全国訓練

7 月24日～25日 感度交換訓練

7 月31日～8 月 1 日 東北地方訓練

○ 電話級無線通信士

期 間 昭和56年 1 月13日～ 3 月 5 日

応 募 65名 受験 58名 合格 46

名 合格率 79.3%

○ 特殊無線技士（無線電話甲）

期 間 昭和56年 3 月10日～ 3 月19日

応 募 48名 受験 36名 合格 36

名 合格率 100%

○ 特殊無線技士（レーダー級）

期 間 昭和56年 3 月20日～ 3 月24日

応 募 36名 受験 36名 合格 36

名 合格率 100%

漁業通信に従事する通信士の充足を図り安定かつ違反のない漁業無線とするため上記の通り通信士の養成講習を行った。

○ 海難防止キャンペーン 6 回

○ 船舶局検査促進指導会議 12回

○ 海岸局運用業務打合会 12回

○ 通信士総会（180 名） 1 回

- 外国 200 海裡通信指導会議 7 回
(魚種別, 海區別)
- いか通信指導会議 (グループ別) 12 回
- 全魚種 (12 魚種) 通信指導会議 12 回
- 燃油節減対策研究委員会 5 回
- 各漁業種別毎に通信の簡略迅速化, 合理化のため略名簿作成交付並びに通信士名簿, 船舶名簿, 遭難自動通報設備名簿作成等を行うと共に関係団体の指導強化を行った。
- 水試本場の指示によりアカイカ漁海況説明会を行うと共に年間漁海況速報と水温報告, 標本船報告通信, 全国市況放送等漁海況調査のための通信を強化した。
- 海岸局整備統合の検討
水産庁指導による県内海岸局整備統合について水産課が主体となり検討継続中。
- 前記統合と関連するが八戸局独自としても車雑音による移転が必要となり大坂産業経済研究所に実験測定を依頼し雑音が確認され, 建設省から移転のための「公共補償」として 1 億 1 千万円の交付内意を伝えられている。
- セルコール装置の設置
海難防止と早期救助を図るため海岸局にセルコール装置を設置すると共に, セルコール船名簿を作成し全船に配布した。
- 広報発行 2 回 1, 400 部
- 施設見学 3 回 180 名 (学生主体)
- 通信時間表発行 1 回 1, 300 部

事業の成果及び今後の課題

1. 事業の成果

- (1) 事業目的に従い 24 時間無休態勢により人命財産の保全, 漁場の適正管理, 漁業生産向上, その他漁業経営の安定合理化並びに海難防止に寄与した。特に柔魚漁業グループ編成について昭和 53 年より水揚げの追跡調査を行い適正隻数, 省エネ等指導の強化により漁獲能率の向上, 操業の合理化並びにソ連 200 海裡諸報告の通信秩序の確保と充実に寄与した。
- (2) 日本海, 太平洋における水温, 海況, 海況等の迅速なる収集及び諸放送により漁海況予報事業に寄与した。
- (3) 外国漁業水域設定にともなう魚種別, 漁獲報告の旬報, 週報の取扱い及び位置確認通信の徹底により緊急避難, 拿捕防止に寄与した。
- (4) 通信所の至近距離に県道が開通することに伴う車輛雑音の影響調査を行い今後の課題である海岸局の合理化及び移転に係る基礎的諸問題の解決のために寄与した。

- (5) 船舶局無線従事者不足に対応し船舶職員養成会開催により、その需給不足に寄与した。
- (6) 船舶局無線定期検査の対象船に対し受検指導の強化を図り進 率の向上に寄与した。
- (7) セルコール(選択呼出)装置の設置により通信設定の迅速化及び海難防止対策の強化に寄与した。

2. 今 後 の 課 題

- (1) 海岸局の合理化及び移転
- (2) 県職員の増員
- (3) 無線組合との業務提携
- (4) 無線従事者養成充足

表 1 1 取 扱 通 信 実 績

区 分 種 別		通 数 (件 数)	時 間 (分)	1 日 平 均	
				通 数 (件)	時 間 (分)
漁 業 通 信					
	送 信	10, 878		29. 8	
	受 信	110, 431		302. 5	
小 計		121, 291	89, 639	332. 3	245. 6
気 象 通 信		2, 094	5, 916	5. 7	16. 2
漁 況 放 送		365	4, 722	1. 0	13. 0
指 導 監 督					
調 整 通 信		48, 742	116, 967	133. 5	320. 5
事 故 通 信		117	483	0. 3	1. 3
小 計		51, 318	128, 090	140. 5	351. 0
公 衆 通 信					
	送 信	4, 823		13. 2	
	受 信	3, 476		9. 5	
小 計		8, 299	13, 877	22. 7	38. 0
總 計		180, 908	231, 6060	495. 5	634. 6
前 年 度 計		213, 679	248, 8474	583. 8	679. 8
前 年 度 比		84%	93%	84%	93%

(割当時間の聴守のみで、電報の送受を行わなかった時間は含まない。

又、ファックスによる送受信時間及び件数も含まない)

表 2 事故内容通信内訳

(機関, 船体, 航海計器関係)

項 目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
主 機							1						1
補 機													0
充 電 機													0
油 圧													0
冷 凍 機													0
航 海 計 機		1			1	1	1						4
そ の 他								1	1				2
計	0	1	0	0	1	1	2	1	1	0	0	0	7

(通信施設関係)

項 目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
送 信 機													0
受 信 機													0
そ の 他									1				1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

(傷病, 死亡, 海難, 関係)

項 目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
浸 水													0
行 方 不 明			1		1	3				1		1	7
衝 突			3	1	3			1		1		1	8
怪 我				1	2		3			1			7
病 気		1		5	4	3	4	2					19
航 行 不 能					1		1						2
曳 航	2		1	1		1			1			1	7
拿 捕					2	1							3
沈 没					1		1						2
計	2	1	5	8	14	8	9	3	1	2	0	2	55

(臨検, その他)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
臨 検	1			2	8	11	8	2	3	8	7	3	53
そ の 他			1			1							2
計	1	0	1	2	8	12	8	2	3	8	7	3	55

(臨検罰金)

10月30日

第16大清算

3,194,900 円

表 3 管内船舶局数

局 数 年月日	電 信	電 話	準 加 入	計	備 考
昭 55, 4, 1	87	481	A 1 7 A 3 J 20	595	
昭 56, 4, 1	83	439	A 1 8 A 3 J 13	543	
前 年 比	- 4	- 42	A 1 + 1 A 3 J - 7	- 52	